

## 付録D オーストラリアのマス・コミュニケーション略年史：1788 - 1901年

[略] NSW = ニューサウスウェールズ植民地、タス = タスマニア植民地、ビク = ビクトリア (植民地)、南オ = 南オーストラリア植民地、西オ = 西オーストラリア植民地、ク = クインズランド植民地。NT = 北部特別地域  
 考文献] Baker(1992), Brown(1986), Fraser(1983), 竹田(2000) ほか。

西 暦	マス・コミュニケーション関係事項	西 暦	マス・コミュニケーション関係事項	西 暦	世界・日本
1788	捺子式木製印刷機持ち込まれる。	1788	英国政府、ボタニー湾に流刑植民地の建設決定。NSW植民地の成立を宣言	1775 1785	米独立戦争 (~83) 『タイムズ』(英)創刊
1789	最初の船(10ト)が建設される。	1.26 1789	A.フィリップ総督率いる第1次船隊到着 植民地開設の宣言 「バウンティ号の反乱」起こる。自警組織が作られる	1789	仏革命勃発
1792	米国から帆装船フィラデルフィア号、通商のため寄港	1790 1791	第2次船隊到着。NSW軍団赴任 第3次船隊到着。ニューキャッスルで石炭発見	1792	仏共和制宣言
1793	シドニーに最初の教会が開かれる	1793	最初の自由移民到着		
1794	パラマツタリバーにフェリー就航	1794	W.パターソン、植民地行政の責任者となる		
1794	シドニー=パラマツタ間道路開通	1795	J.ハンター総督到着。記録上初のストライキ起こる		
1795.11	G.ヒューズ、植民地最初の印刷業務を行う				
1796.1.16	シドニーに劇場オープン				
1800	税関設置	1798 1800	G.バスとM.フリンダース、タスマニア周航 (~99) P.G.キング総督着任。		
1802.1	G.ハウ、『NSW 行動規定』を印刷	1801 1802	R.キャンプベル、貿易商を始める。石炭の輸出始まる 仮釈放制度導入。ハンターリバーで石炭採掘 フリンダース、大陸を一周 (~03)。		
1803	シドニーで、最初のクリケット試合が行われる。				
3.5	植民地最初の新聞『シドニー・ガゼット』創刊 (~42)				
	SG シドニー=パラマツタ間の郵便業務開始の 広告を掲載				
10.6	ポートフィリップ地区で最初の印刷行われる	1804	キャッスルヒルでアイルランド人による暴動 起こる		
1805.2.17	SG 「ブッシュレンジャー」という用語を初めて使う		D.コリンズ、タ・ダーウェントに入り、副総督にタで アボリジニとの間に武力衝突起こる	1805	トラファルガーの海戦
1806	G.ハウ、『NSWポケット年鑑』を刊行	1806	W.ブライ総督着任。ローンセストン入植。 シドニーで女学校が開かれる	1806	神聖ローマ帝国滅亡
1807	SG 「ラム酒の反乱」により休刊 (~08.5)				
		1808	ラム酒の反乱 (~09) : 反権力闘争		

1809.4.25	I . ニコルス、シドニーで郵便業務始める	1809	N S W人口、1万人を超える		
1810	初の競馬がパラマツタで開催される。シドニー	1810	L . マックオーリー総督就任。		
	マツタ間有料道路開設。N S W最初の郵便局		N S W軍団、本国へ強制送還される		
	が設置され、ニコルス初代郵便局長に	1811	タス・ホバートとローンセストン、デイビー副総督の行政		
1.8	タスで最初の新聞『ダーウェント・スター』創刊		下に統合される。(1812英議会、囚人輸送に関する		
1812	ホバートで郵便業務始まる		特別委員会を設置		
1813	最初の蒸気エンジンが輸入される(使用は1815年)				
	ウェントワースら3人、ブルーマウンテンを踏波し、				
	西方への道が開かれる				
1814	シドニー=パラマツタ間に駅馬車の定期便が走	1814	N S W裁判所開廷。フリンダース、"A Voyage to	1814	ウィーン会議(～15)
	タスで『VDLガゼット』創刊		Terra Australia"を出版 「新オランダ」に代わって		
1815	ブルーマウンテンを越えバーストに続く道路完成		「オーストラリア」の名称広まる	1815	ワートルローの戦い
1816.6.1	A . ベント、『HTガゼット』を創刊	1816	ホバートに最初の自由移民入る		
1817	S . マースデン牧師、初の名誉毀損を争う	1817	N S W銀行(現ウエストパック)創立		
			J . オックスレーの探検始まる		
1818	ボタニー湾近くで水力を使って印刷用紙の生	1818	「オーストラリア・デー」祝典始まる		
	始まる。ホバート=ローンセストン間に定期郵便				
	務始まる				
1819	B . フィールド著 "First Fruit of Australian P	1819	T . ビッグ、植民地状況の調査のため来豪(～21)		
	が出版され、オーストラリア文学の夜明け				
1820	SG 植民地生産の用紙を使って印刷、発行され	1820	ローマ・カトリック、布教を始める		
			N S W・カムデンでワイン製造始まる		
1821	植民地初の雑誌『オーストラリアン・マガジン』	1821	ブリスベン総督着任		
	パラマツタで平板印刷機が作られ、石版刷り導	1822	ポートマックオーリーに懲罰居留地建設		
	シドニーから西方への駅馬車が走り始める		「ビッグ報告」が出される(～23)		
1823	SG アルピオン印刷機導入	1823	「1823年N S W・バンディーメンズランド法」成立		
			シドニー、ホバートに立法議会、大法廷が設置される		
1824.10.14	W . C . ウェントワース、R . ワーデルの2	1824	ク入植開始アボリジニとの衝突で、戒厳令施かれる		
	独立商業新聞『ジ・オーストラリアン』(～48)を創刊				
	検閲制度中止 - 「プレス自由」が認められる				
	ベント、タスで初の年鑑を発行				
1825	「N S W植民地郵便料金法」制定	1825	タスマニア植民地、N S Wより分離。		
1.5	『タスマニアン』創刊(～1825.5)		初代総督にG . アーサー就任		
	官版『HTガゼット』の創刊により、政府とベントらの				
	間に論争が始まる - ベント、政府攻撃により禁固刑				
5.1	『オーストラリアン・マガジン』創刊 - 植民地初の				
	雑誌となる(～)				
9.29	SG 週刊から週3回刊行になる				
1826	シドニー街頭に石油・ガス灯がつく	1826	西オ・キングジョージサウンドに守備隊派遣。		

5.19	E . S . ホール、 『モニター』 を創刊 ( ~ 41 )		シドニーに商工会議所、女性職業学校開所、博物館		
9	タ・ポートアーサー = ホバート間に腕木信号架設		( 現オーストラリア博物館 ) できる		
10,11	サッズ・トンプソン事件起こる				
1827	N S W で新聞・印紙法制定の論争起こる	1827	A . カニンガム、ク・ダーリングダウンスを発見	J . スター	
	アーサー・タス副総督、無許可の出版物規制に動く		リング、西オ・スワンリバーを探検		
1.1	SG 日刊になる ( ~ 2.10 )				
3.3	G . T . ハウ、 『タスマニアン』 を創刊				
1828	ベントの雑誌 『コロニアル・アドボケート』	1828	「1828年法 ( 23年法修正 ) 」 - N S W、タス立法	1828	オランダ、ニューギニア南
	処分を受ける。N S W でシドニー外に、7 郵便局を		会の権限拡大。N S W で公務員法制定。C . スタート、		西部の領有を宣言
	設置 - 郵便局員が任命される。シドニー = ニュー		内陸部のダーリング、マレー河川の探検		
	カッスル間などに船による定期郵便業務も始まる	1829	( ~ 30 ) 。最初の国勢調査実施。タ、戒厳令施行		
			西オーストラリア植民地開設。初代総督にスターリン		
			グ就任。N S W、19 郡区に分割		
1829.2.9	『ローンセストン・アドバタイザー』創刊				
11	『オーストラリアン』植字工、給与改善でストライキ				
1830	西オ ( スワンリバー ) で最初の新聞 ( 手書き印刷 )				
	『フリーマントル・ジャーナル』創刊				
	ホール、名誉毀損で25か月の禁固刑を受ける。				
1831	植民地初の蒸気船「サプライズ号」建造	1831	ロンドンでオーストラリア農業会社結成される		
	英国から初の蒸気船「ソフィア・ジェーン」到着		モートンベイに入植開始		
	ホバート = ローンセストン間の定期駅馬車始まる		土地の無償供与時代終わる - 新たに売却制度を導入		
4.18	『シドニー・ヘラルド』創刊				
1832	新聞の議会報道許可される	1832	自由移民奨励助成計画開始		
3.7	SG の一部として官報が創刊される		西オ植民地議会開設		
7.6	スポーツ紙 『ヒルズ・ライフ』創刊				
8.25	『カレンシー・ラッド』創刊 - イエロー・ジャーナリズム				
	の先駆紙となる。				
1833	Austaralian Steam Navigation Co. 創立	1833	N S W 法廷、刑事裁判にも陪審制を導入	1833	英帝国内での奴隷制廃止
1.5	C . マックフォール、 『パース・ガゼット』 を創刊		南オーストラリア協会設立		
1834	「VDL 郵便法」施行	1834	シドニー・ランドウィック競馬場オープン		
			南オーストラリア植民地法成立		
			西オでアボリジニと紛争起きる		
1835	「1835年バーク郵便局法」制定 - 新聞・雑誌の無料		J . バットマン、J . P . フォークナーら、ピク・ポートフィリ		
	郵送始まる		ップ地区に入植を始める。オーストラリア愛国協会設立		
1.1	プレビステリアン派ラング牧師 『シドニー・コロニ		この年、シドニーには295 隻が到着。		
	スト』創刊 - 同派の布教機関紙となる。				
	タス・メルビル、初の文芸雑誌 『HTマンスリー・マガジ				
	ン』創刊 ( ~ 34 ) 。メルビル 『コロニアル・タイムズ』				
	紙上のアーサー行政批判で、12か月の禁固刑で獄				

	中からパンフレットを出す			
1836	SG ハウ家の手から離れる	1836	ハインドマーシュ総督指揮下に、南オーストラリア	1836 『ラ・プレス』（仏）創刊
6.18	『S A ガゼット』第1号、ロンドンで発行される		地入植開始。南オーストラリア会社設立。T・ミッチェル、ピ・西部を探検。ポートフィリップへの入植正式に始まる。シドニー・カレッジ開設	
1837	オーストラリア・ガス灯会社設立	1837	ポートフィリップ居住地、メルボルンと命名される	1837 ビクトリア女王即位
	シドニー=メルボルン間に内陸郵便業務始まる		(英議会、囚人輸送に関する調査委員会設置)	(~1901)。電信機発明
1838	D・ジョーンズ、シドニーで小売業を始める	1838	シドニーのボタニックガーデン開園	
1.1	フォークナー、『メルボルン・アドバタイザー』を手書きで発行		ビク・ヤラで商業ベースのワイン醸造園が作られる	
	浮き出し印刷の1d. 前納切手付書簡発売(世界で最初)インディアン蒸気船会社、英国=インド=オーストラリア間の蒸気船就航の広告を出す		NSW ミヤル・クリークの虐殺起こる	
8	『NSW マガジン』創刊		南オにドイツ人入植始まる	
9	『シドニー・コロニスト』、コロニアン印刷機2台購入			
1839	Hunter River Steam Navigation Co. 設立	1839	スクウォッターへの土地許可証制度導入	
	「S A 郵便法」施行。メルボルンから英国向け郵便		NSW、1エーカー当たりの土地代金5 s.から12 s.へ	
2.6	『ポートフィリップ・パトリオット』創刊		E・J・エア、南オ北部探検	
1840	SH 植字工ストに、政府囚人植字工を送り込む	1840	NSWへの囚人輸送停止。E・J・エア、アデレードから西方への大陸縦断に成功(~41)。	
1.3	『ポートフィリップ・ヘラルド』創刊		ラクダの輸入始まる。	
10.1	SH 日刊になる		シドニーほかで気象観測記録が始まる	
11.1	ビク最初の地方紙『ジーロン・アドバタイザー』創刊		ニュージーランド、NSWから分離・独立	
1841	ダゲレオ式写真撮影(『オーストラリアン』5.)	1841	NSW、経済不況始まる(~43)。	
12.11	NSW・メイトランドで『ハンターリバー・ガゼット』創刊		NSWで警官との衝突でアボリジニ50名以上殺される	
1842	最初のプロカメラマン、G・B・グッドマンがで開業	1842	NSW、タス立法評議会、制限選挙制を導入	
3.12	『ローンセストン・イグザミナー』創刊		南オ、王領植民地となる。南オ・カブングダで銅発見。	
8.1	SH 『シドニー・モーニング・ヘラルド』と改題		メルボルンで公開処刑。シドニーが市政、メルボルンが町政施行。ウェントワース、アジア人労働者調査のために「クーリー協会」を創設。クイ・モートンベイの自由移民入植始まる	
12.1	T・シュトロード、NSW最初の地方紙『ハンター・リバー・ガゼット』創刊		銀行の倒産相次ぐ。NSW議会、初の選挙(英議会による移民奨励援助中止)	
1843	J・リッドリー、自動刈り込み機を開発	1843		
1.1	『メイトランド・マーキュリー』創刊			
7.1	『アデレード・オブザーバー』創刊			
1844	英国=シドニー間に月例定期郵船就航			
7	R・ロウエ、『アトラス』創刊(~48)			
1845.1.4	『ベルズ・ライフ・イン・シドニー』創刊	1845	C・スタートの内陸部の探検失敗に終わる(~46)	

1846.3.27	SMH ラインカルトのカーペンタリア探検を 掲載する	1846	シドニーで反囚人輸送委員会開かれる (英議会、荒地売却法成立)		
6.4	W.カー、『メルボルン・アーガス』創刊(～1957)				
6.2	『モートンベイ・クーリア』創刊	1847	NSW、土地貸与法施行。メルボルン市政施行 南オ・パロッサヴァレー開拓始まる		
1848.1.6	南オ、最初の外字紙創刊	1848	(英議会、NSWへの囚人輸送廃止案破棄)	1848	オランダ、ニューギニア 西部全域の領有宣言
12.2	『ピープルス・アドボケート』創刊				
1849	スポーツ紙の先駆『オーストラリアン・スポー 創刊	1849	中国人移民始まる。NSW、国民・宗教学校委員会 NSWへの囚人輸送を再開(翌50年再停止) 各植民地に反囚人輸送反対同盟設立。 貨幣の使用始まる	1849	カリフォルニアのゴールド ラッシュ始まる
1850	糊付切手発行。シドニー＝パラマツタ間、鉄道 着工。書籍・新聞の印刷出版に関する件は、植民地 から裁判所へ移管される	1850	「オーストラリア植民地法」成立。西オ植民地への囚人 輸送始まる(～68)。シドニー大学創立		
12.28	H.パークス、『エンパイア』を創刊(～75)		YMCA(オーストラリア)、アデレードに開所。		
1851	シドニー印刷組合創立 SMH 蒸気印刷機を導入	1851	メルボルンで「オーストラリア式フットボール」始まる C.フィッツロイ卿、全植民地の総督となる ポートフィリップ地区、NSWより分離 - ビクトリア植 民地誕生。NSW、ビクトリアで金が発見され、ゴール ドラッシュ始まる		
1852	最初の蒸気郵船「チューサン号」、英国から到 オーストラリア＝スエズ・ルート開通(エジプト陸路) G.ロバートソン、メルボルンで書籍販売業始める	1852	大陸東部への囚人輸送終わる		
1853	J.ウェスト、『タスマニア史』出版 メルボルンで、コップ駅馬車会社発足(～1924)	1853	最初の公立図書館がメルボルンにできる	1853	仏、ニューカレドニア併合
9.24	米人G.F.トレイン、スプリング付旅行用 馬車導入 - メルボルン＝シドニー間の交通改善 『イラストレイティッド・シドニー・ニュース』創刊 (～94)				
9.3	J.フェアファックス、SMHの単独経営権獲得				
1854	メルボルン＝ポートメルボルン間に蒸気機関車 開通。コップ社、郵便業務始める。 最初の電信がメルボルン＝ウィリアムズタウン間に 開通	1854	バララットでユリーカ・ストックエイドの反乱起き 対ロシア戦を想定してシドニー湾にデニソ要塞建設	1854	クリミア戦争(～56)
7.5	J.デービス、『ホバートン・マーキュリー』を創刊				

10.17	『ジ・エイジ』創刊				
1855	シドニー＝パラマッタ間に鉄道開通 - 大英帝国 国有鉄道の先駆となる	1855	N S W、ビク、タスマニアに自治政府誕生 王立造幣局、シドニーに作られる		
1855.1	メルボルンでの印刷工ストにホバートの印刷工 ト破りに入る - ビク印刷組合消滅	1855	メルボルン大学創立		
8.2	『メルボルン・パンチ』創刊 ( ~ 1925 )				
10.8	『イラワラ・マーキュリー』創刊				
1856	アデレードに蒸気機関車走る。ビクトリ鉄道、 英国への定期蒸気郵便船運行開始 『アーガス』による議会報道『ハンサード』が始まる	1856	N S W、南オ、タス、最初の議会選挙 - 自治政府の誕生。 ビク、南オ議会、世界で最初の無記名投票制を導入 成人選挙、財産制限廃止など導入される。 バンディーメンズランド正式に「タスマニア」と改称。 シドニーで気球船試行、失敗。 植民地間クリケット試合始まる	1856	アロー号事件
1.5	メルボルンで『リーダー』創刊 ( ~ 1957 )				
6.6	サイム兄弟、『ジ・エイジ』買収				
6.29	SMH クリミア戦争終結の号外を無料配布				
		1857	メルボルンで水道完成		
1858	シドニーのGPO とサウスヘッド間に、最初の電 が開通。アデレード＝メルボルン＝シドニー間、 電信で結ばれる	1858	人口百万人突破。N S W、ビクで8時間労働制実施 W . ディーン、メルボルンで気球船の飛行に成功 N S W、ロシアを「潜在的脅威的」と発表	1857 1858	セポイの反乱 英、インドの直接統治開始
7.12	アデレードで『ジ・アドバタイザー』創刊				
8	『ニューカッスル・ヘラルド』創刊				
1859	タスマニアと本土間海底電信敷設 SMH ホーの6気筒蒸気印刷機設置	1859	Q L D、N S Wより分離・独立。ビク関税同盟発足 ビクでウサギが放される		
1860.7.7	『シドニー・メール』創刊 ( ~ 1938 ) SMH 『エイジ』、バークの探検出発を報道	1860	R . O . バークとW . J . ウィリス、メルボルン＝カーペンタ リア湾の踏破に成功。J . M . スタート、アデレードから 大陸を縦断し、ダーウィンに達する ( ~ 62 ) 第1回メルボルンカップ開催。 N S W・ラミングフラット金鉱で反中国人暴動起 西オで、採算のとれる真珠の採集始まる。 英国からクリケットチーム、初来豪		
1861	この頃までにロイター駐在員赴任。シドニー＝ ベン間、電信開通。シドニーに馬鉄道走る ( ~ 66 )	1861		1861	N Z、マオリ族反乱 米、南北戦争 ( ~ 65 ) 米、大陸電信開通 長崎で英字新聞創刊 生麦事件
1862	アデレードで、最初のペニープレス『テレグラフ』 創刊 ( ~ 66 )。コップ社、N S Wでも営業を始める			1862	
1863	クで鉄道開通 最初の電気がシドニーにつく 名刺サイズの肖像写真画、メルボルンで大流行	1863	第1回植民地間会議、メルボルンで開催 ( 関税問題 ) 南オ、北部特別区の管轄権をN S Wから取得。 第2次マオリ戦争に義勇軍派遣 カナカ ( メラネシ人労働者 )、季節労働者としてク・砂糖 業に来る		
1864	『アーガス』のH . ウィロビー、マオリ戦争に 記者として派遣される	1864	ク植民地で商業ベースの砂糖業始まる。		
5.27	『シドニー・パンチ』創刊				
10.1	週刊紙『オーストラレイシアン』創刊				

1865 9.2	ブリスベン=ロックハンプトン、電信開通 メルボルンで『オーストラリアン・ジャーナル』創刊 (~1962)	1865	シドニーで土曜日午後休業採用 (英海軍、各植民地に独自防衛「植民地防衛法」を示唆)	1865	米、奴隷制度廃止
1866	『アーガス』のH・ジョージ、マカロフ内閣責 記事で、議会召喚を受ける	1866	ビク議会、保護関税施行。メルボルンで初の植民地博覧 会開催される。NSW、公立学校法採択。 最後の流刑囚輸送船、西オに到着。		
1867.7.29	S・ベネット、『イブニング・ニューズ』創刊 シドニー=アデレード電信開通	1867	エジンバラ公、訪豪	1867	カナダ、英自治領となる タイプライター実用化
1868	W・C・カーノット、旧式自転車普及させる	1868	J・B・ヒッカム、羊毛せん断機の特許取得	1868	明治維新
1869	西オ、最初の電信敷設(パース=フリマントル から公営化)。スエズ開通により、ロンドン=メルボ ルン間が54日間に短縮	1869	シドニーで公立図書館(現NSW州立図書館)オ ダーウィンへの入植始まる	1869	スエズ運河開通
1.4	メルボルン『ヘラルド』、夕刊紙に転向 『ヘラルド』、週刊紙『ウィークリー・タイムズ』を創刊				
1870 1.7	C・トッドにより、大陸縦断電信線の建設始まる シドニーで通信代理業現れる 『T&Cジャーナル』創刊(~1919)	1870	第1回植民地会議開催(メルボルン)。英駐留軍隊 シドニーで植民地博覧会。トーウィ・ピール、 シドニーで開業。ビク、女性の私有財産権を認める	1870	普仏戦争(~71)
1871	ジャワ=ダーウィン間の海底電信開通。AAP 表。西オ、馬鉄道開通。タスに蒸気鉄道(73年、公営化)	1871	シドニー貿易労働審議会設立。シドニー株式市場開設。 アリススプリングス開拓		
1872	ダーウィン=アデレード間を結ぶ大陸縦断電信 T線)完成-海外との電信交換業務開始。新聞社、 ロンドンに通信員を置くようになる	1872	ク、木曜島などを併合。クで真珠発見される 最初の義務教育制度、ビクで始まる	1872	カーボンペーパーによる 複写
10.1	ブリスベン『テレグラフ』創刊(~1988)				
1873 11.7	シドニー=サンフランシスコ間、定期郵便業務 W・C・ゴス、OT線のパースへの延長に着手 NT最初の新聞『ノース・オーストラリアン』がダー ウィンで創刊(~1909)	1873	西オ、8時間労働を採用。クでスト破りのために呼ば れた中国人と鉱山夫らとの間が衝突。ビクで女性の職 場進出を認めた工場法制定。J・ハリソン、輸出用冷 凍保存器を開発		
		1874	アデレード大学創立(女子学生を認める)。クで金発見 日本人の真珠貝ダイバー、豪州での契約労働始まる。 (英議会、NSWの太平洋諸島併合案を却下)		
1875 5.1	シドニーで郵便葉書発行 『エコー』創刊(~93)	1875			
1876	シドニー=ウェリントン間の海底電信開通 NSW印刷工組合結成 『アーガス』、監獄制度の調査報道(Vagabond)	1876	最後の純血タスマニアン・アボリジニ死亡。南オ、 NTへの日本人移民計画を発表。R・B・スミス 土地耕作機を発明。ブリスベンで植民地万博開催。 ク、消防法制定。南オ、労働組合を合法化	1876	英、フィジー諸島併合 電話機発明される
1877	パース=アデレード間が電信で結ばれ、国内通 完成。西オ、ITUに加盟	1877	ク、中国人移民制限法施行。最後の懲罰居留地 ポートアーサー閉鎖。人口二百万人	1877	西南の役

2.5	SMH 天気地図を掲載し始める				
1878	A . G . ベルの電話機輸入 H . コリンズ、ロイターのオーストラレイシア人に就任	1878	メルボルン “ ブラック・ウェンズデー ” ク・メイタウンで中国人大量虐殺。メルボルンほかで、クーリー雇用に反対の水夫ら 6 週間ストライキ。最初のテニスがメルボルンで行われる		
1879	『ハンサード』創刊。シドニーに蒸気トラム走	1879	第 1 回植民地間労働組合同議開催（シドニー）。シドニー国際万博開かれる。銀行倒産相次ぐ		
7.1	シドニー『デーリー・テレグラフ』創刊				
1880	各地の印刷組合が統合されて、「オーストラレイシア労働組合」を結成。最後の風車を取り除かれる。シドニー、ブリスベン、メルボルンで電話交換業務始まる。最初のエレベーターが設置される（シドニー）	1880	N . ケリー逮捕され、絞首刑に処せられる。初の冷凍輸出入、英国に到着。メルボルンで国際万博開催。メルボルン大学、女子学生の入学許可		
1.31	『ブレティン』創刊				
1881	パース=フリーマントル間鉄道完成	1881	シドニーで Y M C A 結成。N S W 鉱山ストに軍隊導入		
1882	アデレード=ポートオーガスタ、鉄道で結ばれ メルボルンに電気による街路灯つく	1882	ク・N S W ・ビ、中国人移民制限法を採択。植民地開催（シドニー、中国人移民制限）。6 植民地で同時実施の国勢調査始まる。のちのキング・ジョージ 世ら訪豪。シドニー大学、女子学生の入学許可。N S W 、ホテルの日曜営業、平日11時以降の営業禁止法を実施	1881	明治十四年の政変
7.26	『デイリー・ニューズ』創刊（～1990）				
1883	シドニー=メルボルン間の鉄道接続 アデレード、ホバート、ローンセストンで電話交換業務始まる。G . E . モリソン、大陸内部3,000 km 踏破後、『エイジ』、ニューギニア探検に派遣	1883	シドニー港湾労働者、賃金値上げ要求で4週間ストライキ。初の女性裁縫師の組合がビクで結成		
1884	L . ハーグリーブ、ゴム動力による飛行に成功	1884	ブロークンヒル鉱山発見。ビ植民地、ニューギニア部の併合に失敗。植民地会議、オーストラレイシア連邦審議会の結成をよびかける	1883	独・澳・伊三国同盟
1885	ブリスベンで馬車トラム、メルボルンで路面電車 自転車輸入される	1885	I . G . ライマン、最初の音楽学院をアデレードに創設		
6.26	メルボルンで『テーブル・トーク』創刊				
11.15	初の日曜紙『サンデー・タイムズ』、シドニーで創刊（～1930）				
12.19	パースで『ウェスタン・メール』創刊				
1886	ノースシドニーに路面電車開通 シドニーでD . M . アンガスとG . ロバートソン 書籍店開業（現アンガス&ロバートソン） J . F . アーチボルド、『ブレティン』の編集長に	1886	Pioneer Diary Co. シドニーで創業。独戦艦、ニューリテン島を併合したのを機に、P N G 領土問題が英・独間で争われる。素手のボクシング試合禁止となる	1884	日本の南洋進出始まる
1887	アデレード=メルボルン間の鉄道接続	1887	B H P 社創立。グレース・ブラザース創業。 N S W 、スーダンへ義勇兵派遣。 （英議会、オーストラレイシアン連邦審議会設立を認可）		
			ホバートで第 1 回連邦審議会開催。クでタウンズヴィル分離運動起こる。第 4 回植民地間貿易組合大会開催。 ” ノーマンビーウーマン ” 見つかる カナカ問題で王立委員会設置		
			N S W プリ鉱山でガス爆発、83人死亡。R M I T 創立。		

11.19	『ブーメラン』創刊(～92)		オーストラリア社会主義同盟結成。ブリスベンで反中国人デモ。西オを襲った台風で、21隻の真珠採取船沈没、140名死亡。アデレードで植民地博覧会開かれる(英議会、「オーストラレイシア防衛法」採択)		
12	タ刊紙『オーストラリアン・スター』創刊(1910)				
1888	シドニー=ブリスベン間の鉄道接続 『イラストレイティッド・ロンドン・ニュース』、オース	1888	N S W、ビクともに人口百万人突破 メルボルン植民地博覧会開催。第5回植民地間貿易	1888	英、クリスマス諸島・ニューギニア併合
	ラリア版を出版 ブレティン社、出版活動始める 『ブレティン』、H・ローソンの小説を発表		組合大会開催。植民地会議、中国人移民排斥法の成立を勧告。ローンセストン市政。シドニーでパラシュート降下実演。全国で大規模な干ばつ被害		独、ナウル併合
5.15	L・ローソン、月刊誌『ドーン』を創刊(～1905)				
6.2	『ブーメラン』、“White Australia”を活字化する				
1889	西オ・ローバックベイ=パタピア間の海底電信 ク印刷工、クローズドショップ制をめくりスト(失敗)	1889	植民地人口三百万人突破。タスマニア大学創立。 オーストラリア労働連合結成。タス、ストライキ禁止採択	1889	エジソン、キネトスコープを発明
	L・ハーグリーブ、ロータリー式飛行機エンジン開発		パークス、連邦国家建設を提唱		
1890.3.1	『ワーカー』創刊	1890	西オ植民地、責任内閣制確立。大規模な海運ストライキ起こる。大陸東部、経済不況に直面(～93)	1890	兼松房治郎、シドニーに支店を設立
8.3	日曜紙『トゥルース』創刊		B H Pスト。全植民地・N Z代表、パークス憲法草案を審議(メルボルン)。N S W北部などで大洪水発生。初の女性医師誕生(メルボルン)		
			植民地人口300万人突破		
1891	全植民地、万国郵便連合に加盟	1891	シドニーで第1回連邦会議、憲法草案に着手。労働党結成。ク植民地で羊毛刈込労働者のスト。V D L銀行はじめ銀行の倒産相次ぐ。南オのホテル、日曜営業を止める		
1892	『ジ・エイジ』、鉄道建設問題でS・スパイト局長を追及	1892	N S W、任意労使調停法制定。日本人鉱夫の移民始まる。経済不況さらに悪化。B H Pスト、非組合員導入で衝突。W・レーン、「ニューオーストラリア共同居留地協会」を設立		
1893	ニューカレドニア=ク・ブンダーバーグ間に海 電信開通。シドニーに公衆電話設置	1893	銀行の引き出し中止や倒産続く。ク、最初の水力発電所稼働		
1894	月刊誌『オーストラリア・ホーム・ジャーナル』 L・ハーグリーブ、箱型凧で6m上がる D・シェアラ、蒸気自動車を走らせる(南オ) “fair dinkum”(Bulletin,1894.5.5)	1894	南オで初めて婦人参政権が確立される(実施は96年) シドニー=オークランド定期船が坐礁して112人死亡	1894	日清戦争(～95年) 日英通商航海条約調印
1895	U C A結成 A・B・パターソンの“ワルティング・マティルダ” 広まる 『スノーウィーリバーから来た男』出版-10万部を 超え、初のベストセラーとなる	1895	6植民地首相会議開催(ホバート)。ク、GMT+(東部時間)を採用-各植民地も標準時間を定める ビ、所得税導入。大干ばつ始まる(～1903)	1895	伊、マルコーニ無線電信を発明。ノルウェーのナンセン、北極探検。 リミュエール兄弟、シネマトグラフを発明
1896	仏人 M.Seistier 最初の映画をシドニーで上映	1896	日本領事館、ク・タウンズビルに開かれる		

	「メルボルン・カップ」が初の映画撮影される 米人C・ハーツ、各地で映画上映		ニューカッスルで3か月にわたる鉱山スト。ピク、 最低賃金制を導入。第1回オリンピック・アテネ大会で E・H・フラック、陸上男子800 m、1,500 mに優勝。 H・パークス死去		
1897	メルボルンでSlavation Armyが映画製作を始める モース信号を正式採用 12.19 パースで『サンデー・タイムズ』創刊	1897	第2回連邦会議開催（アデレード）。ク植民地、ア ジニ保護法を採択。ノーフォーク島、NSW下に入る。 メルボルン中心街で大火災。シドニーに日本領事館開設	1897	朝鮮、韓国と改称
1898	D・S・ミッチェルの寄贈により、「ミッチェ ライブラリー」がシドニー公営図書館にできる。 A・C・ローランドソン、1シリングのペーパー バック発売。 アデレードで『バリアー・トゥルース』創刊 - 英語圏 諸国で初の組合所有の日刊紙となる	1898	第3回連邦会議開催（シド・メル）。連邦結成国民 （ピク・南オ・タスは賛成、NSWは賛成規定数に達せ ず）。ニューカッスルで鉱山爆発により15人死亡。 NSWで外輪船が沈没し、26人死亡。	1898	米、ハワイ併合
1899	NSW地方紙協会（NSWCPA）創立 D・ベイツ、『タイムズ』特派でアボリジニ調査 のため来豪。蓄音機輸入される。 H・トムソン、蒸気自動車の開発に成功（ピク） 無線によるメッセージの送信に成功（南オ） 1.5 SMH 夕刊版を発行（～1940）	1899	第2回国民投票（西オを除いて、全植民地賛成）。 ボア戦争に義勇軍派遣（～02）。ク・A・ドースン内 閣、世界で初の労働党政権として誕生（4日後に辞職） W・レーン、パラグアイから引き上げ、NZに渡る	1899	義和団事件（～1901年） ボア戦争（～1902年）
1900	ブリスベン『トゥルース』創刊 国産初の映画“Soldiers at Cross”上映	1900	英議会、オーストラリア連邦憲法案承認。西オ、連邦 結成に賛成。シドニーでベスト流行（8か月で103人死 亡）。義和団事件に英軍として出兵。西オ、女性参政権 施行。Qldで天然ガス発見。オーストラリア労働党（ALP）結成。		
1901	郵便電信法施行 最初の船舶＝沿岸の無線送信に成功する（ピク） A・ディーキンが匿名で『モーニングポスト』 オーストラリア事情を掲載し始める（～14） 3.1 郵便通信業務が国営化され、PMGに引き継がれる	1901	オーストラリア連邦成立。連邦議会開設 - 初代首相に E・バートンが就任し、保護貿易内閣誕生。メルボルン が臨時首都となる。国旗制定。強制労働仲裁法可決。 移民法、ディクテーションテスト実施を採択（～58）。 卓球が流行する。		